

第4回松本市アルプス公園魅力向上検討会議

令和5年2月16日（木）13:30～16:50

勤労者福祉センター 2-2 会議室

【事務局説明】（発言者：事務局）第2回検討会議では、皆様に、アルプス公園の魅力、課題、公園への希望、公園でやりたいことの4つをテーマに、ワークショップ形式で意見交換をしていただきました。誠にありがとうございます。

今年になってからは、市川座長代理にご出席をいただき、小学生、中学生、高校生が参加する、まつもと子ども未来委員会においてワークショップを開催し、子どもたちから多くの意見、アイデアをいただいております。

その翌週には、第3回検討会議の位置づけで、市民参加のワークショップを開催し、原座長、市川座長代理、高山委員、須澤委員には、ファシリテーターになっていただき、幅広い層の方に参加いただき、これからのアルプス公園について様々なアイデアを出していただきました。また、原座長と市川座長代理に出席をいただき、アルプス公園を普段ご利用されている5つの利用者団体の代表の方と懇談会を開催し、ご意見をいただいております。

本日の会議につきましては、これらの結果を共有するとともに、そこから見えてくる今後の利活用の方向性について議論をさせていただければと考えております。

会議の終了時刻は、午後4時頃を予定しております。ご協力をお願いいたします。

検討会議を始めるにあたり、お手持ちの資料の式次第の次のページでございます。

アルプス公園魅力向上検討会議の委員名簿の6番、深澤委員さんの所属ですが、前回までは、アルプス公園周辺住民有志の会でしたが、アルプス公園を愛する市民の会に会の名称が修正となっております。よろしく申し上げます。

それでは、検討会議の開催にあたり、原座長様からご挨拶をいただきます。お願いいたします。

【座長挨拶】

（発言者：原） こんにちは。よろしくお願いいたします。これまで3回のワークショップを開催してきましたが、既にアルプス公園は魅力がある場所なのだから、こ

れ以上の要望はありませんというようなご意見も出るぐらい、既にすごく魅力的なのかなというのは感じました。けれども、きっかけは未整備地にキャンプ場をといるところですが、アルプス公園の魅力が更に高まっていく、市民にとってもっと利用したいと思える場所になる、また、市民に利用された上で、外から来られた方からもこんな素敵な場所があるのかと、更に市民に愛される、そういう場所になっていけばいい。たくさんの市民の方の意見をいただいているので、今日はそれを踏まえて、一定の方向性を、長時間の会議となりますが、よろしくお願いいたします。

【ワークショップ結果について】

(発言者：事務局) 事務局の総合戦略室の石井でございます。よろしくお願いいたします。

3つのワークショップの結果ですが、情報量が多いということもありまして、委員の皆様には事前にお送りし、お目通しをいただいています。そのため、本日の説明は概略説明とします。よろしくお願いいたします。

それでは、1ページ目の右上に資料1とある資料をご覧ください。全体スケジュールとなります。こちらは、事前にお送りした資料ではありませんので、振り返りも兼ねて説明いたします。

第2回検討会議で委員の皆様にはワークショップを行っていただきましたが、その時と同じテーマ、同じ模造紙を使用して、1月15日に、まつもと子ども未来委員会でワークショップを開催しています。参加者は、小学生10名、中学生11名、高校生2名の合計23名で、市川座長代理に出席いただきました。

1月20日には、第3回検討会議として、市民参加のアルプス公園魅力向上ワークショップを開催しました。幅広い層からのご意見を聞きたいということもあり、多くの団体をお願いをし、出席いただきました。高校生が2名、信州大学、松本大学の学生さんが4名、20代から30代は、松本青年会議所をお願いをして参加していただきました。それから、PTAの役員さん、地元住民の方、地元事業者の方の合計22名に参加いただきました。当日は4つのグループに分かれ、原座長をはじめとする委員の皆様には、ファシリテーターとして進行役を担っていただきました。

1月30日には、アルプス公園利用者団体懇談会を、原座長、市川座長代理の出席のもとに開催しました。

次に、資料 2-1 です。ワークショップでは、アルプス公園がこんな公園になったらいいなというテーマを、発表してもらいました。子どもからも、大人からも、全世代が、誰もがなどの共通した単語が出てきたかなというふうに感じています。

資料 2-2 ですが、同じ意見が複数の人から出たものについては、括弧内に人数を記載しています。子どもも大人も同じようなところに魅力を感じているのかなと思っております。

身近な場所で豊かな自然に触れられる、動物に触れ合える、見られる、広い、無料である、こういったところは、子どもも大人も魅力として挙げています。

資料 2-3 は、課題として挙げられたものです。第 2 回目検討会議では、音楽広場など利用されていないエリアがあるという意見が出されていました。

子ども未来委員会では、知られているエリアとそうでないエリアの差が大きい、音楽広場があまり使われていない、展望広場がなくなってしまう、食べ物を買える場所がないので 1 日中楽しめない、小学生は楽しめるが、中学生や高校生は楽しめるものが少ないという意見が出されました。

大人のワークショップでは、駐車場が満車になる、車がないと行けないなど、公園までのアクセスに関する課題が挙げられていました。

資料 2-4 は、公園に希望すること、公園でやりたいこととして出された意見です。こちらはたくさんの意見が出ていました、その全ての意見を拾い上げた資料となっています。

第 2 回検討会議では、展望広場の再整備と飲食スペース、待合スペースなどの機能の追加、山と自然博物館の有効活用、未整備地を芝生化しイベントができるようにする、などの意見が出されました。

子ども未来委員会では、遊具レンタル、ゆっくりと景色を楽しめる展望広場、南側入口近くに景色を見ながら家族で飲食できるカフェが欲しい、未整備地には芝生を敷いて広場にしてほしい。展望広場跡地と未整備地で特に多かった意見としては、眺望を楽しみながら軽食がとれるスペースが欲しいというものでした。

大人のワークショップでは、展望施設からは景色を見るだけでなく、星空、夜景が見られるといい、眺望を活かしたワークスペースがあるといい、眺望を楽しみながら食事がしたい、家族でゆっくり楽しめる場所がほしい、日よけシェードやテーブル、椅子があれば快適、園内の移動手段が欲しい、それから、地域の事業者さんと協働し、未整備地にキッチンカーを入れるなど、ナイトウォッチングやヨガなどの多様な使い

方ができるスペースになったらいいという意見も出ていました。ワークショップの結果に関して、ご質問あればいただければと思います。

【質疑応答】

（発言者：小川原）この項目でお話しすることではないかとは思いますが、前から思っていて今ここに活字となっていなかったというのはあったような気がします。私からの提案だったと思うのですが、上手な話できないですけど。桜の森という場所がありますよね。あの関係の話をしたときに。学生さんの勉強するような場所が欲しい。ひかげが欲しい。飲食ができるところが欲しいという話がありました。提案ですが、レンタルの parasol のセット。傘みたいな。それから机と椅子をね、レンタルして学生さんが来て勉強とか飲食を、日陰を利用し、少しぐらいあるのでいいのかなとか思いましたので、まとまらない話です。まとめて活字にしてほしいのですが。parasol セットのレンタルっていうのをどっかの項目へと入れておいていただきたいと思いません。

（質問者：高山）資料 2-2 のところ。こども未来会議。上から二番目の「自然がある(2)」というのが自然っていうのは、子供たちはどういうふうに捉えたのか。そんな情報があれば教えていただきたいと思えます。

（発言者：原）事務局か市川さんが出席されていたと思いますが、思い当たることがあれば。

（回答者：市川）自然があるというのは、これ私の理解は、今ある、恰好が良いよなということも自然がある。自由があるというような感じで、子供が話ししているように私は思いました。

（発言者：事務局）付箋に書かれたものをそのまま書いて整理してございます。こども未来委員会の下から3つ目植樹数の多さという難しい言葉で書いている方もいました。緑が多いという趣旨で発言されている方が多かったと思えます。

（発言者：原）ありがとうございます。私も、結構この中身、気になるところではあるんですけど、今伺っていていいのか、高山委員がそのように質問されたその心はどうかお聞きしてみたい。

(発言者：高山) 自然という非常に捉え方が広いものですから、多分皆さんこの中で全然違うと思います。今お話聞くと植樹の多さとありますが、自然とは何か。人工的な自然っていうようなイメージも含めて子供たちは自然と捉えている。これから多分議論するとき一言で自然と言うときに植樹とか花壇とか、それも含めて自然っていうのか、言わないのかっていうところの前提条件を揃えておかないと。議論が見えてこないよということで。

(発言者：原) そうですね。緑の質というよりは緑の量っていう意味で自然っていうふうに表示されているような気はします。不自然なもの、もちろん公園なのであるとは思いますが。ありがとうございます。それ以外にいかがでしょうか。また後ほどでも、気づいた点があればいただければと思います。

では引き続きまして、アルプス公園利用者団体懇談会の結果について事務局からご説明をお願いいたします。

【アルプス公園利用者団体懇談会について】

(発言者：事務局) それでは引き続き説明をさせていただきます。6 ページの資料 3-1、7 ページの資料 3-2 となります。こちらの資料につきましても、委員の皆様には事前にお送りしたものととなります。

未整備には飲食できるカフェスペースが欲しい、小鳥と小動物の森は明るい施設として改修してほしい、こちらについては、公園緑地課が今年の夏にサル舎等を新しくリニューアルオープンしており、来年度以降も順次改修を行っていく予定ですので、お応えできるのかなと思っています。

南入口付近にカフェスペースや食事が取れる場所は複数の団体からご意見がありました。

資料 3-2 につきましては、それを整理したものととなります。以上となります。

(原) はい、ありがとうございます。ではこの利用者団体懇談会の結果についてのご質問等あればお願いしたいと思います。事前には目を通していただいているかと思いますが、情報量が多くて質問するのも大変かなと思う。

(質問者：小川原) ヤマユリの会。ゴミ拾いの活動ができていないってありますが、私も放光寺町会でのゴミ拾いに参加したことがあるのですが、その他の団体または

個人含めて、ゴミ拾いの現状。そういう機会は年に何回ぐらい。行っていましたか。

またこれからはどんな感じですか。ボランティア形式で。

(回答者：事務局) ご質問にお答えをいたします。ヤマユリの会自体は活動が少し停滞していることは、TOY BOXから聞いています。ただ、TOY BOX自身もゴミ拾いのボランティアをアルプス公園で活動していただいています。それが2ヶ月から3ヶ月おきぐらいに行っておりまして、4回ほど今年度は行っています。その都度募集の中で最終的にゴミの量が上がったりして、あと、皆さん方がどのくらい歩いたかってなことまで測定をして結果をまとめていただいています。

あと放光寺町会さんがやってらっしゃること、私も承知をしておりますし、ご協力いただいていることは個人的にという方も中においでになって、例えば公園の中ではなくて公園の周りなどというところを放光寺町会の住民の方がゴミ拾いをやっていたという情報の情報も、私どもも承知をしています。知る限り私の方では以上でございます。

(質問者：原) もしTOY BOXさん、おわかりになればちょっとお伺いしてみたいのですけれどもなぜ山百合だったのか。やっぱり山地には見られる花かなとは思いますが、これ経緯がもしわかれば、なぜ山百合だったのか。

(回答者：TOY BOX 渡辺) こちら立ち上げはもう10年ぐらい前だと思っておりますけれども。その時は花の丘は、ほとんど手が入ってない状態で、なかなか名前に応じないということで、その後、ここで名前通り花がいっぱい丘にしようということでそちら担当課さんへこちらから提案したのだと思います。

山百合ということで在来のものをやったのか、それとも別とかその辺まで検討したかどうか。すみません私も把握していません。名前通りの花の丘にしようということで立ち上げてスタートしたっていうところはもうきっかけになるかとちょっといいません。山百合選定理由は私もすみません把握してないもので、申し訳ないですけれども。

(発言者：小川原) 全く思いつきで強く要望するものではありませんが、ゴミ拾いというところで今思ったのですが、北側の実行会議と私どもの方の魅力の会議の委員で、会を開くのみならず、一斉にみんなで暖かい日にゴミ拾いをやって、その活動が本当に真剣に取り組んでいるのだなというようなイメージを市民に伝えることができるのかな、何より公園を綺麗にするという意味でね。思いつきで大変失礼しました。

(発言者：原) ありがとうございます。素晴らしいなと思います。私も最近関わることができていないのですが、以前小布施町の市民が参画して、トイレ掃除とゴミ拾いということを定期的にやられている街です。それもあって観光客の方たちにも美しい街だということで長野県知事もそれを評価したい。真似というか、松本でもやりたいなということで、15年ほど前に既存のエプソンの労働組合の方たちと縄手のトイレを活用して掃除やゴミ拾いをしたことがあるのですが、やった自分自身が気持ちよくなるっていう意味でも掃除とかゴミ拾って本当にいいものですが、市民に愛される場所としてはそんなことできたらなと思いました。ありがとうございます。

それ以外なければ次に進めたいと思いますが。

では会議事項の三つ目。北部エリアの自然活用を検討する市民会議の検討状況について事務局の方からお願いいたします。

【松本市アルプス公園自然活用実行会議について】

(発言者：事務局) それではご説明をさせていただきます。お手元の資料の8ページ資料番号4-1でございます。松本市アルプス公園自然活用実行会議の検討状況ということでございます。要旨はお示しの通りでございます。経過として全6回の会議の予定で、予定通り先週に最終の会議を終えて、3月末の提言書の提出に向けて、作成ということで今進めているところでございます。3の検討事項でございます。この北側拡張部の管理運営体制、他4つの事項について協議をしております。自然施設を利用した環境教育と関わりやすくするため、市民参加型の管理運営体制を検討しています。具体的には、市民参加型の管理運営体制については、具体的に(ア)としまして、仮称ですけれども、自然活用委員会を設置していくと、これは現在の実行会議の委員さんを中心とする専門家の皆様方の配置をさせていただく中で、個人や団体で参加する公園ボランティア等の活動支援で関わっていただければということを検討しています。

次のページ9ページご覧になっていただきまして、(イ)指定管理者と市公園緑地課の関わりでございます。こちらにつきましては、管理運営に関する役割分担を明確にし、実施に向けた連携体制を検討しています。

こちらにabcとお示しをしております。それから(2)PR広報宣伝と案内および移動についてです。まず、PR広報宣伝公園案内につきましては、今現状の問題におけ

る委員提案として示してございます。

三つの問題点を挙げて、ここに対する提案をお示しいただきました。特にコミュニティの場としての活用が少ない、公園運営に関わる体制が必要と先ほどご説明した。体制作り、活用推進に結びついていくものを考えております。続きまして、園内の移動についてです。園内は非常に広く高低差があるため委員の方々から提案があり、実現可能な案について検討しています。

(3) 自然活用ゾーンでございます。次のページをご覧ください。移動手段の検討です。まず、基本的な事項を整理しまして、それに対して移動手段を分類しています。これをもとに公園内の移動についても考え方を今まとめていただくということになってございます。

続きましてその下のこの自然活用ゾーンについて資料4の3に示してございますが、自然活用ゾーンとお示しをした場所でございます。それに対して次のページ11ページをご覧になっていただきますと、それぞれのゾーンに関する意見として、ご提案をいただいています。市民活動の場として写真と具体的な内容を11ページの下ページ、それから12ページの上ページ、水辺の再生ということでお示しをしておりますのでご覧になっていただければと思います。それから次緑地保全ゾーンということでここにゾーンを表してございます。それぞれの緑地を保全していくかということの中で、次の13ページ、4番緑地保全ゾーンに関する意見として、ご提案をいただいています。

伐採する木を選び、それを伐採し、処理としてチップ化などした後活用する。この繰り返しを提案され、それぞれの場面で市民が参加できる場づくりをすることを提案されています。

提言について今後作成に入っております。以上でございます。

【質疑応答】

(発言者：佐藤) 質問というか、何か要望みたいな感じになってしまうのですが、その北側の拡張のことも含めてというお話だったと思うので、それに関連して要望させていただきたいことがある。北側の方を、アルプス公園全体を含めてですけど、結構僕も写真撮りに行くなどするのですが、最近、結構鳥が自分から人の方に寄ってくる。鳥は基本的に人に近づいたら逃げるものだと思うのですが、なんで近づいてきているかというと、誰かが餌をあげているというような実態があって、実際

に、餌を撒いている人も見たことがあるのですが、餌をあげることで、人によってはやっぱり冬寒くて、それがかわいそうだって言う人も多いのですが、でもそれあげてしまうと、自分で餌をとらなくなってしまう。渡り鳥なんかは帰る時期が、心地いいからずっと居てみたい。本来のバランスがどんどん崩れてしまっているという状態があって、一番問題だと感じたのは天然由来の、木の実とかあげるだけだったらまだいいのですが、ひどいときにはポテトチップスを砕いているのを置いているときがあって、そういういろんな人に開いていくにあたってくる人の構想だとか自然への関心の深さだとかにも様々な違いが出てくると思うので、自然活用ゾーンをしっかり決めて、どんどん市民の人に開いていくってような形になっていくのに対して、例えばその餌付けとかそういうことを禁止するだとか、そういうみんなが楽しめて自然を守れるっていうルール作りをしっかりとの方がいいかなというふうに感じます。

（発言者：市川）北に関しては、高山さんがおっしゃった自然という、もう1回考えさしていただくという佐藤さんのおっしゃる通りとか、いろんなことがあると思います。また関連して、もっと深い話になってからという。自然。本当に我々がどこまで理解して提言するかという結構重たいことが感じています。そんなところです。

（発言者：原）ありがとうございます。この公園内の移動手段の検討というのは、本当は私達も考えていかなければいけないところだったので、このぐらいの整理がされているのかなというところは非常にありがたいと思いますか、一緒に考えていかれたらいいのかなとは思いますが、そうですね。では一旦次に進めていこうかなと思います。

では、ここから本格的に意見交換ということに入っていきたいのですが、たくさんアイデアを出していただいたのですが、ここから議論を深めるにあたっては、もう少し整理されたものが欲しいかなと感じているのではないかなと思いますが、事務局の方でアイディアマップみたいな形で整理したものがございますのでまずその資料についてご説明をいただいた上で、意見交換できればと思いますので、すいません、もう一度説明をしていただきますが、よろしくをお願いします。

【意見交換】

(発言者：事務局) 資料は、14 ページから 15 ページの方になり、右上に資料 5-1、資料 5-2 と振った資料となります。ワークショップ等が出された様々なアイデアを 5 つの切り口で整理し、その切り口に沿って更にマップという形に整理した資料となります。委員の皆様にもご意見が視覚化できたほうが議論しやすいかと思い、資料を作成してみました。

14 ページは、縦軸がそれぞれのワークショップ、横軸が 5 つの切り口となります。

1 つ目は遊びです。ここでは、ゾーンの使い方、各種体験やキャンプをしたい、遊具レンタルがほしい、音楽広場の有効活用などがあります。

2 つ目は自然です。山と自然博物館の有効活用、体験型のアクティビティ、星空観賞などがあります。

3 つ目は交流です。未整備地の芝生化、飲食ができるスペースがほしい、家族でゆったり楽しめる場所がほしい、日よけシェードやテーブル椅子があれば快適、キッチンカーが多く欲しい、地元の良品やアウトドア用品が買えるといい、地域事業者と協働しての多様な使い方、歴史を子どもに伝えるなどのご意見をここで整理しています。

4 つ目は景色です。こども未来委員会での、ゆっくりと景色を楽しめる展望広場、それから南側入口付近に飲食できる場所が欲しいとの意見。市民参加のワークショップでの、展望カフェやワークスペース、複合サービス施設としてのレンタル窓口などのご意見をここで整理しています。

5 つ目は移動です。混雑時のシャトルバス運行や園内の移動手段、グリーンスローモビリティなどのご意見を整理しています。

資料 5-2 の資料はマップ化、視覚化した資料となります。

アルプス公園で真ん中に、5 つの切り口で整理していて、マルが大きいものは意見が多かったものになります。

遊びでは、大人も楽しめる体験型アクティビティや星空鑑賞があり、その先には、音楽広場を幼児用の遊び場、子どもの自転車練習スペースにしてはどうか、また、ここでデイキャンプができるようにしたらという意見もありました。

遊びの下に伸びているのが、小鳥と小動物の森です。もっと触れ合いができるといい、施設の老朽化対応があります。

遊具の充実では、レンタルの遊具、それから中学生以上も遊べる遊具ということで

有料のアトラクションという意見が多く出されました。ただし、吹きだしにあるように、そういった遊具は、遊園地やテーマパークにあります。アルプス公園に必要なについては議論が必要かと思います。

それから、レンタサイクルについても意見が多く出ましたが、これも近くの信州スカイパークにあるため、アルプス公園に必要なについては議論が必要かと思います。

自然の山と自然博物館については、魅力ある展示を求める声と展示室の無料化という意見が出されました。

右側にある交流では、キッチンカーを充実させてほしいという意見も多くありました。それから、イルミネーションという意見も多かったのですが、こちらは、国営アルプスあづみの公園で大規模に実施していますので、アルプス公園に必要なは議論が必要かと思います。

未整備地の利活用については、子ども、大人を問わず、たくさんのアイデアが出されました。

フリーマーケットやマルシェ、地域事業者と共同したヨガやウェディングの場としての利用、日よけシェードなどを用いた家族でゆったり楽しめるスペース利用、また、そういった多様な使い方を可能にするための、未整備の芝生化について多くの人から意見がありました。

それから右下の景色ですが、展望広場の跡地については、展望カフェや軽食ができる展望施設の再整備を望む声が多く、合わせて、ワークスペースやWi-Fi 設備の整備を望む意見も出されました。

展望広場の跡地には、ただ単に展望を楽しむだけでなく、眺望を活かした複数の機能をもつ展望施設があり、未整備地はその前庭として、多様な使い方ができたらいい、そのような利活用を望む意見が多く出されました。説明は以上となります。

(発言者：林) この件に関しましては、やはり集約していかなきゃいけないのでそれぞれ皆さん挙手ではなくて、1人、お1人で今までの意見をお伺いした上でやってほしい方がよろしいのではないのでしょうか。

(発言者：原) 今、ご提案をいただきましたそのような形でお一人、お一人にご意見を求めてよろしいのでしょうか。いいですか。

(発言者：林) 私の方からは以前にこれまで出た、ご意見がありましたので、それを踏まえて、また私どもとしまして提案書を、案として作ったものがありますので少

しお時間をいただいて確認していただければと思います。あくまでも意見提案ありきですので、そうと思いますが。あと写真が勝手に使っているものでして、この委員会のみで、外に出さないようお願い申し上げます。

まずアルプス公園の件で、検討会議として元々の経緯みたいなものからいただきますと、コロナがまず原因でございます。

私が飲食店を経営している関係で街から人が来て、観光も全くなくなります。この先一体どうやって事業をしていけばいいだろう。途方に暮れるような毎日が続きました。その中でコロナは2、3年で収束するだろうと思われていたのだが、この中でどうやってそれを立て直すのだったということを考えたときに、松本に、もっともっと移住してくる人を、やっぱり来てもらって、市が豊になってくるということが一番大事じゃないかなということ。使われてない場所がもっと松本市のいいところを取り出し、それを主体的に活用してもっと人が移住してくれるような街作りができればいいかなということと一緒に提案した経緯がございます。その上でこれまで多くの方を巻き込み、そして議論、意見を出していただいたという経緯になっている。

けれども大きく今見ていただきますと、皆さんアルプス公園に対しての意見の中でこれは私達の町の道導といいますか。三ガク都というところに結び付けないかということ考えてまいりました。

山岳の岳、音楽の楽、学問の学、を出すということで、それを身近に感じていただけるものを今までの自分たちの街、三ガク都というのは何か漠然とした部分があって、確かに音楽の街だしねとか、松本市ですねというような漠然とした良さと思う。それを身近に感じて発信していくことでより豊かな、一人一人が豊かな生活ができる、楽しめる。市長も豊かさと幸せを実感できるように目指すとしている市長がシンカというものに繋げていけるじゃないかということ考えています。

アルプス公園の魅力を向上させること自体が松本の魅力になるのだということで、そんなときに、皆さんと一緒に考えていけたらいいじゃないか考えた。

それには一番市民が魅力を感じる公園にしなきゃいけないと感じた。住む人が一番の魅力を感じて、そしてそれを誇れることでそして市民が主体となってそれをその魅力を、多くの方に伝えていくことで人が集まるじゃないかなということ考えた。松本市は水が綺麗な場所がある。セイジョザワがある。いろんな強みがあるのですけれども、その中の一つがアルプス公園だと思う。そこを強みに取って、三ガク都を身近に、そこで体験する場所にしたらどうかというふうに考えました。

そして、観光や移住で人々がぜひというところに繋げていければいいじゃないかなと思いました。

そして基本のテーマを若干考えてきました。キャッチフレーズが必要なことでね。多くの市民が山を感じて、音楽を楽しみ、学ぶ喜びを体験する場所にしたらどうかと。まずガクトを感じる場所としては、展望ひろばや、例えば未整備地がそのまま活用されていない。臨時の駐車場でも最高のロケーションが何も使われていないという状況は非常にもったいないと思います。そして松枯れですとか、里山辺整備。木を切るのは悪いことじゃなくて、整備することで森が豊になりますし、CO2等々の削減等々の問題も解決する部分もごさいます。環境を整えることも大事だと思います。多くの意見でありましたけれども飲食できる場所についてじゃないか。または先ほど日よけなど非常に必要。今現在はタープなどを張ることもできないという状況です。テント張ることもなく熱中症のリスクもごさいます。提案として、やはり展望広場を新設していただきたい。再整備をしていただきたい。それも、展望を山と自然博物館でいつもご利用される、散歩されている方とかそういった方々にも迷惑にならないとも考えた方がいいかなと思います。今現在のウッドデッキ状の広場とすること。または飲食施設を併設するという。その施設ですけれども。飲食店として、実は冬の間にそういう問題もある。続けるというのは非常に大変。先ほどキッチンカーの公園でキッチンカーを設けて、それを貸し出せばいいじゃないかという意見がありましたけれども、その施設の中には、例えばそこを貸しつけてあそこで事業ができるというようなレンタルスペースにしたらどうかと。

事業をこれからしたいというような人がいるのかも。トライアルで使ったり、料理教室をやったり、いろんな活用ができるじゃないかなと思います。

また、Wi-Fiの環境として、そこで仕事をする人を増やしていけるということも大事だと思いますが。未整備地、荒れ地となっている未整備地。臨時駐車場に今なっているけれど、芝を敷いてキャンプを始めとしたイベントや、音楽などに活用してその際に、事業者が利用するなど。売上に繋がると思います。

あくまでもこれイメージですけど、こんな素敵な、ウッドデッキまたは、展望を満喫できる仕組みだけがあると、多分すごい魅力があるものになるじゃないかなというふうに思いました。

ここは、大人も子供もみんなが楽しめる公園ですし、年配の方々もそうですし。勝手にネットからもってきましたが。ただ、自然に配慮すること、また安全性、そ

うところは十分配慮して日常的に楽しんでいる方たちが、気持ちよくご利用いただける、または展望の眺望を壊さない。また音楽イベントの際には騒音など近隣の住民にも十分配慮が必要だと思えます。

やはり自分たちの街のものを、自分たちの地元のを、地元で活用することだと思えますので、カフェスペースが好評なものでもありますし、地元のをそこで活用することで、できるじゃないかなと思えます。それから交通問題。渋滞の問題で駐車場の台数に限りがあるので、例えばだけでも、合同庁舎からシャトルバス出しますとか。いろんな他の解決方法を模索する必要があるなあと。あと、先ほど音楽広場は全く使われてないということでしたので、もったいないと思いました。

また、情報発信も市民に向けてすべき。家族広場のステージの老朽化。あまり使われない。イベントのときには使われている。せっかく音楽の街でありますので、アルプス公園でも音楽を楽しめるようになればいいじゃないかな。

音楽広場のステージ。普段から使っていただけるような。海外のケースですとベルリンフィルで野外コンサートをやっていて、星空のもとでクラシックを聞くという動画を見たことがある。ものすごくいい。星空の下でスターウォーズの曲を聞いたのがよかった。本当にいいじゃないか。それから市民が楽しめるじゃないかなというふうに思いました。心地いい音楽を聴くなら専門業者が必要ですし、皆さんにもご利用いただけるようにしたらいいのでは。

あと学ぶというところなですけれども、資料 1 ページの一番後ろに私も行いました。アウトドア講習会というもで、信州大学の方とアウトドアをどうするか、遊びを通して子供に教えるという、古屋顯一先生の授業を講習会の中で、子供たちの生きる力を、こどもたちの防災訓練の総括、そして四つの効果があるということをやっているらしいです。その理由として資料でざっくり説明してしまいますけれども、子供の体力が低下しているという資料 1 でございます。明らかに低下しています。

そして資料の別紙 2 で自然体験をしたことがある子供と、ない子供では大きな差が生まれているということだ。自然体験をした人は道德感と正義感が強いと。強い数字で、グラフで表されています。

また自然体験をしたこどもは勉強に対するやる気が増えている。資料 2 です。また、子供のころの体験で、大人になってからの議論等の関係が資料 3 です。これでもわかるように自然体験をしている子供というのはやはり意欲があったり、職業に対しての意識が高かったり、いろんな素晴らしい効果が生まれる。

その上で、やはり学ぶというのは確かに学校の勉強ももちろん。せっかくこんな無料の自然が身近にある。自然の中で学ぶということがすごく大事なことじゃないかなということで提案をさせていただいております。薪割をしたり、火をおこしたり、大人が子供に教えられることですし、いい教育に繋がると思います。

市内の学生たちは、身近に集まったり、学習の時間に使ったり、例えばスペースを広げたいなというのに使えるかなと思いました。

この防災チャレンジキャンプという15ページですけれども、子供たちの意見いただきながら、子供たちが考える、子供たちと考えるっていう状態でも非常に良い企画じゃないかなと思いますので、提案いただきました。

そういった中で、大人も子どもも学ぶことが楽しいというような場所に繋がりたいじゃないかなというふうに考えました。私、これまではキャンプ場を作って、使えない場所を有効に使うって、キャンプも人気出ていて、収益少しでも上がる。開発をしたとしても取り戻せるじゃないかなということで経緯がありますけれども、楽しめることは、5000人以上の私も行った書面で集まっておりますが、キャンプ場を作ることだけではない。市民等の市民の皆さんの意見を活用してこの街の魅力をさらに高めていけるような場所にぜひ皆さんと一緒に考えたいと思います。

どうぞよろしく願いいたします。

これはあくまでも私の意見。皆さんの意見を出していただいて、いい提案を市長したいです。

(発言者：原) ありがとうございます。三ガク都にという形での整理をしていただいているというところで、内容についてはかなり市民の方々からも出ているような内容になっているのかなと。

ただ、三ガク都という整理の仕方はとても私もシンカ会議の方にも参加していたりするのですが、その2030構想に沿うような形でいいのかなというふうには感じましたが、ご意見としては、内容的には多くの方たちからも出ている中で林さんがここはっていう、中にポイントってありますか。お聞きできれば。

(発言者：林) そうですね。やはり今まで自分たち街の良さはあまり漠然とした部分があると思うのです。そこをもっと、自分たちで気づいて、それを十分楽しんで盛り上げて、それを発信すること。市民が楽しんでいるところを見せるのが、一番説得力があると思う。

多くの方に松本市に住んだらこんなことができる。こんなふうに身近にあればこ

んなところで楽しめて、音楽も、学びもできるとしてもらうのは大事なこと。

あとは子供たちがそういう体験をする機会を作るのが大事かなと思います。

(発言者：原) いろいろな体験ができるような企画をたくさん増やせばいいという感じですかね。もちろんそれができる場としてのふさわしいものもあると思う。

(発言者：林) そうですね。やはりそこはいろんな活用方法が考えられると思うのですけれども。

今、問題となっています、私は飲食関係していますけれども、やはりコロナ以前のコロナの状況に戻るまだまだ先ですし、戻るのかなと感じるぐらいはまだ低迷しています。そんな中で、こういった場所を活用できたらみんな呼んで、今日そこでやるのでぜひ来てください。同じように作ったので、ぜひ食べてください。天気は晴天にしますけどね。いろいろな活用方法が市民の皆さんで活用できる場所になったらいいなというふうには思います。

(発言者：原) ありがとうございます。三つ意見交換しなきゃいけない内容があるので南側未整備地の部分についてのご意見をお1人ずつ。簡潔に言っていただけたらいいかなと思います。その後でまとめていこうかなと。

(発言者：梅津) 今の提案大変結構なことだと思いますが、三ガク都という観点から、魅力向上のアルプス公園ということを検討することは非常にいいことだと思います。ただ一番初めの三ガク都の岳というのではこの提案のように展望、あるいは飲食のできるそういった施設も。白昼というのは非常に魅力ある考え方じゃないかと、岩岳販売。そういった施設が非常に好評だという話もあります。市街地でそういった場所が手軽に得られれば非常にいい一つのアピールポイントになるだろうというふうに思います。

2番目の音楽の楽ですが、これは10数年前、一度サイトウキネンオーケストラがそこで演奏会をやったことがございます。それ以降毎年続くのかなと楽しみにしていたのですが、なぜか1年で終わってしまったということですが、ぜひそういうのをより自然の中で音楽を楽しめるようなことをアルプス公園に持ってくるというのは非常に魅力向上の大きなセールスポイントになるじゃないかと思います。

3番目の学ぶ方の学というのについては、あそこでやらなきゃいけない意味合いが全くないので、他のところでも今提案のような問題。子供たちがキャンプして学ぶということは、そういうことでもできるし芥子坊主山でもできるし、いくらでもできる

ので、アルプス公園の整備に持ってくる必要はないというふうに私は思います。

(発言者：小川原) 非常に魅力あるお話、まさに魅力ある話でも聞かさせていただきました。

私は重複しますけど、先ほど思いつきの提案だって言いましたけども、今数分間一生懸命考えていました。

それは、自然活用実行会議と魅力向上検討会議のこのメンバーの皆さん。私も、育ちが全く山間僻地で育って、毎日キャンプをしていたようなものですから、いろいろなことを考える中で、ここに提案者が実際に行動を起こし、さっきも申し上げましたがゴミ拾いとは言いませんけれども、北側と私どもの方で両方の委員が一堂に会して情報交換をしながら、いろいろな事業ありますが、危険箇所チェックだとか、ごみ拾いだとかいろいろある。それは今後の課題として一番は原点に帰って、みんなで行動してみよう。それが本当に市民または利用者に私どもの気持ちが浸透するのではないか。そんなことをさっきは強烈に話をするものじゃないといいましたが、ぜひ今度はお願いしたい。

一同に介して、あそこでジュースでも飲みながら、和気あいあいの中にも、緊張感を持って将来に向けてすごいアルプス公園について起こしている団体だ。今後も将来に向けて改善に改善をしながら行動していくぞ。そういうところをアピールしたい。そういうことを考えます。

(発言者：原) ありがとうございます。三つ目の議題として、次回フォーラムを市民向けに開催しなきゃいけないその中身、内容にも何か参考になるようなご意見かなと。

(発言者：田力) いろいろご意見を見させていただくなど、林さんのご提案も大変参考になりました。まずこの未開発地については私も飲食ができる展望カフェができると本当にアルプス公園の魅力が何ランクも上がるというふうに非常に感じます。あとは体験するというのと、学ぶということは、私は分けて考えた方がいいと思っています。体験するというのはご家族連れでデイキャンプなりなんなり。キャンプをする、自転車に乗ってみる。木に登ってみる、自然を観察してみるっていうのが体験になるので、体験するというのをもう少し充実していかれるとすると、もう少しアルプス公園の使い方のルール改善ですとか、林さんおっしゃられたように私達もガー

ルズスカウトで使うイベントをするとすると、非常に多くの手続きを踏まないと、なかなか場所が借りられない。借りるにあたってはいろいろな規約がある。それはやはり公園を守るための規約ということなので何でもかんでも開くこととは限りませんけれども。例えば未開発地、芝生を敷いて開いた場所にするときも、気軽に家族連れで何かをやるにはどういうルール作りをしたらいいのかというのが課題というふうには思います。

学ぶということはやはり誰かがプログラムを提供するということになると思うのでそれはみんなや、そういうのが得意とする団体です。私達も得意とする団体ですけどもそういうところとのやはりコラボといいますか、そういう仕組み作りが非常に大事ではないかなと思う。以前にもお話したことがあるのですが、私は毎年アルプス公園で行われているネイチャリングフェスタの実行委員をやっております。ブースの募集というのを毎年しているものの、結局候補にはたくさん上がってくるのですが、いざやるとなると、本当にたかだか2日間だけですが、やってくれるところは皆さん、いろいろなイベントがあつてそういうできる企業さんとかはもうあっちもこっちもというふうになっているので、あるいはそのアルプス公園の施設的な問題なのかそこはよくわかりませんが、結局ネイチャリングフェスタはブースの数を増やすために、ボーイスカウト、ガールスカウトの4ブースも5ブースも開いてという形で最終的には成り立っていくところがあるので、そこら辺が事実上で、何か原因なのかなと知るといえるか、課題かと思う。

(発言者：佐藤) 私の方からはさっきの林さん発表に補足しながらお話してこうかなと思うのですが。まずアルプス公園全体の中でのゾーニングをしっかりと決めて、どこを、環境を守る場所にして、どこを利用する場所にするかという前提のもとに立った上で、今の未整備地だとか展望広場ですかどっちだとか、イベントスペースとかとして利用していくということにはとても賛成かなというふうに思います。

それで林さんの発表の内容の中で特にいいなというふうに感じたところが、山と自然博物館に隣接する場所に展望スペースを設けるといいうところがいいなと感じて、外にある芝生とかのところに新しくタープを張っていいなど、こういうのはルールとか問題の意味合いが強いと思うのですが、やはり屋内施設をとると、結構大がかりになるので、やっぱり既にあるものをうまく活用して、博物館を中心に展望スペースだとか、あとはいろいろな広場という連続性がゾーニングを明確にしていくという

ところにも繋がると思うので、そこはいいなというふうに感じました。

一応この中では一番若いので、若い視線からというところで、中高生とかがどうしたらアルプス公園に、来るのかなというのを考えたときに、何しに来るのだろうというところで、一番は友達とバーベキューとかそういうことができたなら多分普段公園とかなに行かない学生とかもくるきっかけになるのかなと思うのです。

中高生というのは当然免許とか持っていないですし、車もないのでレンタル用具とか、そういうものがあつたりすると便利なのかなと思いつつ、また、そういうものを持参できないかという、公共交通を使わざるを得ないので、そんなに大きな車に荷物いっぱいにしていくということができないので、公共交通の充実化というのと、レンタル用具の整備っていうのはセットでやってくることが全世代にとって楽しめるアルプス公園にとって必要なんじゃないかなというふうに考えました。

あとは周辺の方が迷惑してしまうというような可能性もあるので、どこまでキャンプとか容認していくかというのは難しいところだと思う。個人的にはデイキャンプくらいの日中バーベキューなどを楽しんで、夜は普通にお家に帰るというくらいにとどめておくのがいいのかなというふうに感じました。僕からは以上になります。

(発言者：須澤) いろいろなお話が出ていて何から話したらという感じがするのですけど、まずこの資料5-2の図がとてもわかりやすくていいじゃないかなと。個人的には思っている。本当に中学年以上が遊べる遊具がテーマパークにあるなど、必要じゃないところも削って、もう少し見やすくすれば端的にわかりやすくなる。どんな世代にも思います。学校とか保護者側として思っていることは、未整備地は地盤が危ないということとか、景観が崩れたらというところもあるので、そこまで大改革はしなくていいのかなと。例えばそのピクニック広場までの遊歩道整備を近所の学校など巻き込んで、柵や木々の剪定は中学校や、小学校の高学年とかでできることなので、地域と一緒に学校から見てもできるかなと。先ほど梅津さんおっしゃっていた展望カフェ。岩岳のカフェがすごい。もし展望の広場を使うのだったら、その食事程度ぐらいで、軽食とかできる施設、レンタルスペースとかも、その併用した施設があれば、林さんがおっしゃったような山と自然博物館をうまく利用していくのもありかなと。

フリーマーケットとかマルシェも今そこら中でやっていたりしているので、何もここでわざわざやらなくてもいいかなと。何かここならではの何かできることがいいかなと思います。

私もキャンプはデイキャンプがベストかなと思う。もう一つ思ったのは、もっと何かメディアを活用してもいいかなと。例えば、ヒロミさんのDIYの番組があるのですが、そういう番組など何か介入してもらい、アプローチして、やってくれませんかというのもありかなと思う。ダウンタウンの浜田さんの俳句の番組ご存知ですか。そこで看板アートというのをやっているのですが、それを書くブースで場所を提供したらどうかなど。ラジオなどでパーソナリティと一緒に花壇整備やっているのも聞いたことがあるので、そういうところにも何かメディアを活用してもいいじゃないかなって思っている。

(発言者：深沢) 2月10日に、自然活用実行会議ございました。私も少し参加させてもらいまして、非常に素晴らしいお話を頂戴しました。と言いますと、遊んで学んでみんなで里山作りというのがタイトルですけども、こういった子供の遊びはたくさんあります。提案されていまして。これはすごく素晴らしいなと思ひまして、感動しました。ということで他に今までのワークショップとか、様々な意見も大変皆さん大勢の意見が聞こえて本当に私もいい勉強になります。

ただ少し、今度、私ワークショップでの反論をしてはいけないという規則がありましたけど、ここでいくらか反論させてもらいますのでよろしくお願ひします。ご存知でしょうか。東口から駐車場、そして森のかけ橋を渡って、花の丘に登りますけれども、その橋を渡ったところに西洋菩提樹。もう枯れて倒れる寸前です。それから周りのツツジが、苔でいっぱい。それからなぜか夏にリンゴ音楽祭を3日間、夜遅くまでやっています。それは昼間だったら結構ですけども、夜遅くまでずっと煌々と明かりが照らしている。自然の方に聞きました。これはやはり明かりのせいだと。それからツツジ、狂い咲きして秋に咲いているのです。ということで夜の私は公園の利用はもっと遠慮すべきだと思いますので、これだけはもうはっきり申し上げたいですけども、まずアルプス公園はどういうところだということを、ワークショップやってもらいたかったなと思うのだけど、資料としては皆さん読ませていただきますけれども、子供たちとかいろいろな多くの皆さんが、本当にアルプス公園はどういうことかということをもっとやっぱり知ってもらいたかったなと思います。それでアルプス公園の市民のために、より良くするためには、整備についてはいろいろなあれがありません。

しかし、目の前に少し問題があると展望が広がるアルプス公園、観光客を呼ぶためではなくて、市民のためそして公園特有の生態系が貴重な昆虫植物のための公園だと

思います。この中に、移住者がアルプス公園の魅力をよく知っている、地元の人たちは、アルプス公園はよく知ってないって書いてあるけれども、これはよくわかりません。よく知っているということは何を知っているのか。ただ素晴らしいということだけだかもしれませんけれども、それからこれまでのワークショップの検討会などで、意見の中で、夜の有効活用、キャンプをしたいなどと言われましたけれども、夜はキャンプの光に外来昆虫などが集まって、アルプス公園特有の生態系が崩れてしまいます。先ほど申しましたけれども、アルプス公園の自然に私達は思いますけれども、本当に自然に感謝して、静かに夜は眠らせてあげることが森を守ることだと私は思っています。

それから、大事な予算ですね、私達が納めている予算を、今の公園を利用してもらいたいということとはとにかく、ついに2,3日前ですけども、水辺の広場の池があります。あそこのデッキ、ありますけどもそのフェンスがぶっ壊れ、池の方に倒れている。ご存知でしょうか。壊れています。本当に危険です。そういった面で、水辺の広場を綺麗にすることとか、やりたいリニューアルしたいことはいっぱいあります。まずそういうところからお金を使ってもらって、それから先ほどいろいろな意見が出ましたけれども、楽しい、皆さんが遊べる市民の森であることを認識して、それからもう一つ、先ほども出ましたけれども、そこで何をやりたいか、これもやっぱりしっかりと決めてもらえばありがたいなと思います。

昼間の私は火を使うのは別にいいじゃないかなと。夜はとにかく、夜の星眺めたいとかいろいろありますけど、夜は静かに眠らせてあげたい僕はそれを訴えたいと思います。

(発言者：高山) 前回のあがたの森でやった市民フォーラムに参加させていただきまして、それまで、アルプス公園は全世代の人が楽しめるような場所にしたいなと思っています。ところが市民フォーラムに参加した高校生や中高生はほとんど行きませんと、交通手段が自転車しかない。ほかにやらなきゃいけないことがあるので、公園には行きませんよと。それを考えると、何が何でも全世代と一緒に全ての方々に満足いくような交流をするというのは、そこは求めなくてもいいじゃないと考えております。北側の会議では、南側のポジションは大きな言葉で言うと遊びの場です。北側は自然を活用した場なので北側については四つのテーマまして、環境教育、体験学習、健康、癒しの四つのテーマを構成として、北側をどういうふうにしていこうかという。

それはこれからの提言書で集まってくるのですけども。そういうふうに南側と北側のそれぞれの計画がまず一つ。それから先ほど言いました全世代を対象にすることは現実的に不可能ですし、拒むって意味じゃない。全然、中高生もぜひ来てもらいたいが、ぜひ来いとは言わなくてもいいじゃないか。そうすると南側をどのような層がというのは未就学児、それから小学校低学年、と4、5年生ぐらい。それと保護者の方々は安全に楽しめるような場所として考えるというのは、それから春になると中学生以上といますか、大人の方々がウォーキングしに来ている。健康づくりだとか、山を楽しみたいとかそういう方々を対象とする。また、非常に考えないといけないのは野外に出たいけれどもそれが困難な方です。北側も含めてですが。そういうような場所としての空間を提供するような仕組みがあったほうがいい。グラフでいうと正規分布みたい。若い層じゃなくてもっと右側のレースに偏ったグラフの公園作りがいい。その次に林さんがおっしゃっていましたが、地域の経済ということで公園がどのように貢献できるか。それが先ほど言ったキッチンカーやレンタルショップというようなものができればそれも地域貢献。そもそもアルプス公園自体市の施設ですので、民間の業者を圧迫するような行為をして、本当の商売している人に圧力がかかるような、その辺は地域経済をどうやってこの中で回そうってところが、難しいところだ。そういった本来の公園あるべき姿を考えて、そこに地域経済いろんな仕組みを持っていくのか、それを持続的にずっとそれが5年10年、例えばキャンプなら今は人気だけれど10年先はどうかわかりません。10年先、20年先また流行るかもしれない。そういうサイクルはありますけど、50年あるいは100先まで我々が地元を引き継いでいくということがあると思う。そのためにはアルプス公園はどのようなポジションにあるのか。都市公園という位置づけでありますけども、国営アルプスと競争するのはできません。

競争というか共存、連携ができれば。それを含めてアルプス公園がどういう方向性にすすんでいくのかという、そういうことを考えるというのは一番前提であって、その責任ありきではないでしょうかということです。

(発言者：市川) いろいろ意見を聞かせてもらっていて大切だなと。アルプス公園はますます大事な場所だなと感じている。アルプス公園今年で50年。我々の人間としても50歳、それから今私の段階を進みまして75過ぎてみますと、嫌な人みたいになってくるのですけれども、今の話は別としてアルプス公園にさっき深沢さんおっしゃったように今リフォームをする時期じゃないのか。お金をかけるというふうに、全部

まず1回、この50年にリフォームをかけて、もう1回本当の自然というか、遊べるところにもう1回戻してあげる。そこに向け活動をつけてあげて、本来の公園を生かし、ということはずっと思った。

今日の会議とかいろいろしてみたら中でも感じることは、やはり今日あげないと、いくら魅力があってもどんどんどんどん年老いていってしまう。アルプス公園も結構年取っているのだなというのを20年ぐらいで非常に感じています。この委員会ができたのを起にして、新しいものを増やすというよりは、まず元。今あるものを生かしてあげる。芝生を植えるなど、いろいろなことにしてもそうですけど、もう1回お金をそこにかけて、その子供たちとのワークショップで一番感じたのは、先ほど質問されたのですが、自然があるということは何かというワークショップ見ていると、非常にわかるのですけれど、自由放題言っているなと思う。考えているよりも僕は自分たちが出てくるものをやってくれているというのは何かというと、この自然があることも先程、高山さんにポンと言われて時間をおいて考えていたのですが、やはりこの自由が多用されているものですから、何でもできる、子供たちが一番、その小・中学校に一番欲しいとか未整備地のところ聞いたのですけれど、一番その大切なものをあそこで出せる。これは難しい言葉である、自然あると言われて、自然って何って言われた後、私も一瞬困ったのだけど、そこにいきつくような公園の魅力がアルプス公園にあるじゃないかなと思って、力を入れていきたいなというのは、また今思っているところですので以上です。

(発言者：原) ありがとうございます。それをまとめるわけにはいかないですが、二つ目の意見交換(イ)ですね。利活用の方向性について小川原さんから以前ご提案あった何かキャッチフレーズを考えることで方向性を示せたらということで一応それも議題には上がっているのですが。

(ア)と(イ)と分けて話をするよりは時間の関係もあるので、含めてというかあえて触れないか。

ここでキャッチフレーズにしちゃうと話が散らばるような。

(発言者：事務局) 少し補足説明をさせていただきます。16ページの資料6ですが、最終的に市長に提言までに、アルプス公園をどのような公園としていくかというところが、この検討会議で一番議論するべきところだと考えています。

その時にどのような切り口で何を議論したらいいのかという時の呼び水になればと
いいとの趣旨で、16 ページはつくっています。内容はこれで良いかという確認を求め
る資料では全くなく、市長提言までに、皆さんで議論していきたいという意味です。

(発言者：原) ありがとうございます。次回がフォーラムではなくて、もう1回そ
ういう議論のできる場があるといいなと個人的には思っていました。

(発言者：事務局) 公園全体の更なる魅力向上の方向性は、ワークショップでしっ
かり打ち出していくというよりは、最終的に提言するまでに整理できれば良いと考え
ています。

フォーラムに向けては、公園南側の玄関口にあたる一帯の利活用のアイデアを整理
する必要がありますが、全体の方向性は、フォーラムに発表するために、今日何か決
定しなくてはいけないとは考えていませんので、まとめまではしなくてよいのでは
ないかと考えています。

(発言者：市川) 我々の意見としてのフォーラムは一度きり。ある程度委員会とし
ての方向性を決めたほうが。

(発言者：事務局) フォーラムで説明する場合には、資料5-1では、文字量が非常
に多いので難しいかなと思います。

フォーラムには、資料5-2のアイディアマップぐらいの情報量かなと思っておりま
して、今まで議論を聞いていると、委員さんの意見とアイディアマップとで、全くこ
こは違うというようなことはないのかなと思っています。

ただし、昼間の活用は良いが、夜の活用はどうだろうかという意見が出ていましたし、
そのようなものについては、こういう意見が出ているということを付け足す、少し見
せ方を変えた資料にしてはどうかと思います。

景色と交流のところにつきましては、飲食もできる展望施設はあった方がいいとい
うのは、委員さんも同じ意見だったかとは思いますが、山と自然博物館の隣接地とな
ると場所が違いますので、表現を少し変えるという形になります。

最終的には6月の提言に向けての検討途中でありますので、これが決定ではなく、
検討会議でもこのような意見が出ていて、今、議論を進めています、そのような中間
報告の形で開催してはどうかと思っています。

いずれにしても、資料5-2のアイディアマップをブラッシュアップしていった
らどうかというふうに思いますが、いかがでしょうか。

(発言者：原)　そうですね。市川さんからご意見あったようにアルプス公園 50 年を迎えるというタイミングで、やはり求められるものが変わってきていると思うのです。

事業では必ずマーケティング、本当にニーズがあるかということ調べるわけですが、今までやったワークショップの、ある意味マーケティングしたというような、市民が何を望んでいるのかということ、アイデア聞いたというところにあると思う。

ただ、全部を実現できるということは不可能に近いわけで、そこに高山委員からありましたように、税金というものを使っての市民のための公園。もちろんそこに観光客が来てもいいわけですが、市民のための公園という昔からのあるべき姿っていうのも見えてくると思いますし、そういう予算の関係からできることできないこと、あるいは私 1 回目のときに事情を知らなくて自転車で行ったのですけれど、中で自転車走っちゃいけないというようなこともあるわけですね。

ですので、中には何かを変えることで実現できるものもあるかもしれないですけど、現状でできることできないことの整理では優先順位や、限られた予算の中で、あるいは人的リソースの中でということであれば、優先順位も出てくると思うので、今の事務局の石井さんの方からこのマップにしたがって整理したらどうですかというご意見ありましたが、ご提案ありましたけれども、今まではどちらかというこの場でも委員の皆様個人の思いみたいなことをメインにお話いただいたと思うのですけれども、私達市民を代表しての立場でもあるので、市民からのいろいろなニーズを汲んだ中で、もう一步高い視点から、公園に求められるもののあるべき姿というのを踏まえた上での意見を出していただけたら、集約されていくかなと思うのですが、いかがでしょうか。

時間も限られているので深沢さんの方から先ほど反論というか、これはできれば避けて欲しいというような、絶対に譲れないものもあると思いますし、これは市民の意見を集約すると絶対した方がいいじゃないか、それができない場合はできるためにどうしたらいいかというような、そんな方向で少しご意見を簡単にでも出してもらえたら。次に繋がるかなと思うのですけれども。

(発言者：事務局)　先程の説明を何かイメージですと、資料 5-2 をご覧ください。

スカイパークや国営アルプスあずみの公園との比較から、検討が必要との意味で吹

きだしを入れています。

この吹きだしのような形で、検討会議の中で意見が分かるようになっていて、ここは今後検討していきますというコメントを入れる。今後、検討する視点が分かる資料にしていったらどうかというところで、ご意見いただいたらどうかと思いますが、どうでしょうか。

(発言者：佐藤) 先程の吹き出しをつけるようなイメージで見ていこうかなと思ったのですが、イルミネーションは国営アルプスあづみの公園の方でやっているというのと、また先程の深沢さんがおっしゃっていたような光の害が自然に影響を与えてしまうみたいなことがあって、逆にアルプス公園だからできることをするのが大事だよなっていう話もあったと思うので、結構夜は休ませてあげるというのももちろん大事ですけど、機械をバンバン使ってイベントをやるというよりか、何か暗さを楽しめるようなことができたらいいいじゃないかなというふうに感じていて、星空観賞とかも多分もちろんいいと思いますし、生き物って意外と夜行性のも多いなか、昼間に行ったら何もいないと思っているところに夜行くと、居たりすることあるので、そういった何か活用の仕方があるじゃないかなというふうに思いました。

何か植樹も踏まえて自然が自然の定義をどこに持っていくかというので結構植樹とか花壇も含めて自然だというようなお話が多分今日の会議の最初の方にあったと思うのですが、植樹に関しては、どこかの遠くの地域からの植わった木を持ってきた時、そこに例えば外来の生き物がついてきてしまうとかという、そういう問題があると思うので、やはり地域の市民の方のニーズと、あとは自然にとって何が良くないのかという、両方わかっている僕らが提案できることを提案できたらいいいじゃないかなというふうに思いました。

(発言者：高山) 今の誤解があったようなので訂正させてください。植樹も園芸も自然ではないと。正し、園芸は素晴らしい、いろいろな癒しの効果がありますので自然ではないですけど非常に大切。植樹も、景観を作っていくという意味では大切な効果がありますので、植樹も園芸も。出し方ですけども、資料のところ。これをブラッシュアップするという事は非常にいいとは思いますが、ここに載ってないことも多分これからも増えてくる。それを次のフォーラムまで整理するのか、あるいはもっと先までに何とかするのかあまり理解できない

(発言者：事務局) 昨年来、市の方で未整備地にキャンプ場を整備しようとする中で進めてきたが、今回は、より多くの方の市民の方の意見を聞いて進めましょうということで、ワークショップを開き、ここまで進めてきています。

フォーラムについても、その場で何か決定事項をお伝えするという位置づけではなく、より多くの市民の意見を聞く場の一つとして元々想定しています。

全体の見通し、スケジュールから申しあげますと、年度明けになりますけれども市民フォーラムの後に、2回の検討会議を予定しています。

ですので、フォーラムまでにすべてを決定するのではなくて、市民フォーラムでいただいたご意見も、当然、提言書に反映していくということで考えています。

(発言者：林) ワークショップといい、フォーラムの違いということで、やはりフォーラムの最後にこういう意見があります。たくさん出ています。それを受けて検討委員会としては、ここはこうで、こういう話しております。と言うような具体的などころをお話ししないと、ただフォーラムでもこれがしたい、あれがしたいという話に終始して、まとまりがつかなくなる可能性がある。

例えば市民フォーラムの際は未開発地の利活用をどういうふうに今意見が上がっている。こういう話をしているとか。展望広場の場所は多くの飲食できるスペースをとってほしいという意見が出ていて、それについて今話をしている。大まかに、どんな公園していきたいかということも北側と南側に分けて、南側に関してはこういう位置づけでどうだかということ今話をしているというような具体的なところに持っていけないと、多分フォーラムでも話がまとまらなくなって、その話はまとまらないまま6月になり、そこでもこうだっという話になってしまいますので、フォーラムではより具体的な意見が、こういう話し合いの中で皆さんどういうふうにお考えでしょうかというような話に持っていくということです。私の頭の中整理させていただきました。

(発言者：高山) フォーラムやること賛成ですのでぜひやってみたいと思っておりますし、多くのご意見をいただく。大変なことだと思う。

この検討会議自体が先ほどのイルミネーションの賛成、反対。いろいろな思いがあるなかでどうやって会議が集約することが時間的にできる工程なのかというところがわからない。フォーラムやって次が7回目で終わりですよ。そのときそういう細かい

いところまで決めるのか、あるいは基本的な方向性だけ提言してその後のところは整理するところは議論するのか。この辺はどういうふうを考えておけばいいでしょうか。

(発言者：事務局) この検討会議では、未整備地と展望広場の跡地について、ここについては具体的に、どういう使い方をしていくということを提言していただきたいと思っています。

資料5-2にあるように、展望広場の整備については、たくさんの意見が出ている中で、最終的にどのような使い方をするかについては、ワークショップで出された意見に加えて、検討会議ではこのような意見も出ているという形で、市民フォーラムでは、お示ししていくのがいいかなと思います。

それから、公園南側開園部の利活用については、細かいところまで具体的な提言ではなく、このエリアはこのような利活用が望ましいという大きな方向性を示していただければと思っています。

(発言者：原) 今日時間過ぎちゃいましたがよろしいですか。未整備地展望広場については具体的ということですがけれど、私から一つお伺いしてもよろしいですか。今まであまり交通のアクセスが良くないということは公共交通機関が整備されていないというところから、車で来られる方が多い場所ですがけれど。今まででも駐車場が満車になって、溢れてしまうということがあって、未整備地が臨時駐車場になっていたということです。キャパ的に園内の移動がクリアできたとして東側の駐車場は、北部はかなり小さいのですがけれど、東側からの移動が良くなれば臨時駐車場として使う必要はなくなるという考えでよろしいでしょうか。

(発言者：事務局) お答えをいたします。東側駐車場は駐車規模が大きいので、東入口駐車場への誘導を行い、満車を見越して、休日などは芝生の部分を駐車場として、開放します。ただし、利用されている団体があるので、調整を行います。第2、第3駐車場、南入口駐車場手前があるので誘導します。

(発言者：小川原) 第5回の3月25日に行われる市民フォーラムについてというような話も今出ておりました。やはり話を進める中で市民の皆さんにも理解していただくためには、いくつかの課題をこの委員会で選択して、それをフォーラムの中で検討するのとそういう流れですよね。大きくは、今日の今までの会議を結論づけるものではないということですね。

私が思うに、そこは確認できたと思うのですが、重複して大変失礼ですが、前々回の私、提案書を少しメモ作ったのがありました。その中でも結論に結び付けなくていいという。キャッチフレーズのこと話させていただきました。

それからもう一つは、展望台の件ですが、今解体したところ、博物館のあるところに新展望台デッキみたいなものを作ったらいかがというような話もさせていただきました。新しく作るデッキと、今ある自然博物館。これを雨天または季節の寒いようなときには自然博物館の屋内展望台。外には風景を感じる新展望台を作る。やはり展望台というと自然の空気を感じるのもいいじゃないか。また、夜間星を見るのも体験としていいじゃないかという話をさせてもらいました。

そこで一つ質問ですが、自然博物館の建物は改築改装。いろいろ難しいです。敷地があると思うのですが、敷地は国のものですか、市の敷地ですか。博物館の敷地。

そこは私の知るものではないですが、次回のとしまでに公にする必要は結構ですが、あまり敷地が大きければ、展望台を作ることまずくなってしまうじゃないかな。もし余裕が、それだけの面積の余裕があればそこに屋内展望台、屋内デッキを作っていくみたいなものは関連性もある。

もう一つは屋外展望台を子どもさん等々利用して、まさにその隣に子供の広場がありますよね。あそこを日帰りデイキャンプ場。デイキャンプをする、そこをベースキャンプにして、下から南から全部敷地内を、そこをベースキャンプとしていろいろな遊びをできるようにならないかなという提案書を作ったのを思い出していただいて、今度のフォーラムのときに一つの課題で出していただきたい。市民フォーラムに一つ課題として挙げてもらいたい。希望です。

(発言者：市川) もう一つ確認ですけれど、アルプス公園と松本城。非常に私の中では大事なものだと感じ、両方見るのですけれど。そういう中でも飲食を少しやって非常にいろいろな意見がたくさん出ています。飲食というか、簡単に食事ができるのか、そのときにアルコールというものを、許可するのもしないのかというのはどうでしょうか。その辺でもだいぶ変わってくる。

(発言者：事務局) お答えします。基本的にはアルコールというものも認めています。販売は当然イベント時のみであって、私どももそこはかなり規制を厳しくする必要性はないと考えています。

(発言者：原) ファシリテーションが下手くそで申し訳ないですが、深沢委員からも今日アルプス公園がそもそもどういうところなのかを詳しくというご意見ありました。市民および会議の中からのワークショップで、いろいろなニーズは聞けたのですが、これをまとめていくのにキャッチフレーズとか、それがイメージなど、あるべき姿ということなのかもしれないですが、そもそもどういうところだから何ができるか。何ができない。それを本当は絞っていったらよかったのかなと。思うのですが、そういう流れにできなくて大変申し訳ないですが。今日はどういう着地にすればいいですか。

(発言者：事務局) 資料5-2で示したのは、ワークショップで出された意見で、その上で検討会議では、こういう話をしたという形が見えたらたらないのではないかと思います。市民フォーラムで、皆さんはどう思いますかと課題をそのまま投げちゃうのは違うかなと。検討会議としての考えはお示しをしないと反応が返ってこないと思いますので、南側玄関口の一帯の利活用のイメージについては、今日まとめて頂きたいなと思っています。

ただ、使い方とすると、飲食機能はあった方がいい、仕事もできるようなスペースがあったほうがよい、ここは合意できていますよね。検討会議の中で合意できているところを、フォーラムに出していかないと、参加される方も、検討会議で色々な意見が出ていますという状況だけを説明されると、いったい検討会議ではどうしていきたいのかがわからないと思う。

検討会議の方向性はあったうえで、さらに議論を深めている場になるといいのかなと思います。

(発言者：原) どこまでの具体を掲示すればいいのかがわからないですよ。

(発言者：深沢) もう一つまた余計な意見ですいません。今も展望台から、次の遊歩道の話が出ています。ピクニック広場からそこまで未整備地ということで開発ですが、展望台は市長が耐震不足だということで、キャンプ場のキャンセルをしました。では、展望台広場の他は安全でしょうか。

未整備地は、安全でしょうかと私はそれを聞きたいです。そこは、遊歩道を作って、様々な植物を植えて、自然観察できるような、そういう風土を作ってもらいたいなと私の意見です。私の意見じゃなくて、私達の市民の会の意見です。

(発言者：原) どういうものにするかというのはいろいろな意見がある中で決めなければいけないと思うのですけれど、今大事なのはその安全性というところかなと思うのですが、どういう観点からの安全性をお聞きすればいいですか。展望台は確かに構造物だったので、構造計算上耐震というのは出ると思うのですけれど。

その安全性と言った場合には。

(発言者：深沢) ハザードマップをしっかりと見ていただければわかりますけれども、一番危険地帯は確かにあの周辺です。

ですから、展望台が耐震不足だったら他のところももっとひどいじゃないかと、私はそう思いますけれども。

(発言者：林) 少し違うかもしれませんが。展望台の耐震じゃないか。展望広場の躯体が耐震不足です。あそこ一帯が耐震ある、ない、の話じゃないです。

あと、展望台が耐震かどうかというのは私もわからないのですけれど、その話じゃないと思う。

もしハザードマップということであれば、議論になっちゃいけないと思う。そういう話になるのですよ。だから、そこには大規模なものではなくて、芝生を植えようじゃないかという話を今、しているところです。そういうことだと思います。

(発言者：原) そこは十分配慮しなきゃいけないこと。

(発言者：市川) 最初に市で確認をしたのですけれど、市の方と元々はオートキャンプ場やるぞ、やめた。議会になってから。市民の皆さんもメディアの皆さんも一緒にいろいろ出してきてそれが一応白紙になった。その時に、そういうことも一切白紙の中で、このフォーラムを本当に開いているとき、市民の皆さんたちを説得させるというか、会議をやっているとその場から難しいと思うのですが、フォーラムをやるときは。本当に更にして今やっているところを訴えてやらないと、この辺にも聞きたいじゃないかというのもあると思います。ワークショップとして我々としても一緒に向き合わなければと思う。

(発言者：林) この話は1回白紙に戻してという話をさせていただきました。私はそのつもりで話をさせていただきました。我々としては、キャンプ場にしたらきっと多くの方々にいらっしゃっていいじゃないかという提案した経緯がありますけれども、それは一体を示して、多くの方と話し合いをしようということで話しておりますので、

その議論は必要ない。

その中でキャンプ場という話があった中で、いろいろなことに使えるじゃないかということで、多目的なイベントスペースとして、芝生の養生をすればいいじゃないか。もちろん何も使わないという選択肢、皆さんがされるのであれば、それも構わない。

ですから、その中でもデイキャンプとしては活用にもなるしいいじゃないかという意見が出ている。そういうことで話をしていければいいと思う。そこにまた戻ってしまうと、またそのキャンプ場が何でもキャンプができるだけに、終始してしまいますので、その議論は必要ない。

(発言者：市川) フォーラムだからある程度まとめて、フォーラムに持っていくというか、方向性だけは若干ないとですよね。皆さんの意見聞いただけだというような気がするのですけれど、間に合わなくなってしまう。

(発言者：林) おっしゃる通りで、まず先ほど私が言ったのですけれど、テーマ。ある程度絞って、例えば未整備地に関してはそういう意見が出ていて、展望広場に関しては、こういう意見が出て、そういうようなポイント、ポイントを何個か絞って、それを今決めればいいじゃないですか。

(発言者：田力) ポイントではなくて、これだけの意見が出ましたという、このアイディアマップ強度をもう少し反映して、それはやはり皆さんにお示ししないと。

私はこれだけの意見を聞いて、これだけの意見を出した、結果、今こういう方向性で話を持っていきますという。持っていく方向を何種類かお示しする。ある程度の報告はしないと。どれだけのことが話し合われて、どれだけの意見が出てきたということは、参加されている方にはお知らせをしなければいけないかなというふうには思います。

そのキャンプ場問題というのは非常に敏感な方は敏感になっていらっしゃると思いますし、その参加される方がどういう方がいらっしゃるかと思いますが。本当に私たちはこの話には公平という立場で話をしているということはわかっていただきたいと思います。

(発言者：原) そうですね。一応事務局からもお引き受けしたときにオートキャンプ場の是非についてはゼロベースというところで、お話始まってはいるので。触れる必要もないというのも一つ考えとしてはあると思うのですけれど。丁寧にご説明することは私達がそうですね。田力さんおっしゃった何を検討したのかということ

ろをお示しする意味でもお伝えした方がいいかな、どうかと思います。

(発言者：小川原) やはり前段で、その辺は説明した方がいいですよ。キャンプ場については。

(発言者：原) これだけの意見で方向性をまとめるというのはやはり足りないことが多いなと。

(発言者：事務局) 田力さんのご意見にもありましたけど、この会議主催でワークショップをやりましたので、どのような意見がワークショップで出されたかということは、参加してくれた方にお返しをする意味でもお示しすることが大事だと思っています。

お示しをする際に、さらに細かい具体的なものとなると、この段階ではお示しができないので、アイディアマップ程度の資料になるのではないかと思います。

未整備地と展望広場解体後の利活用は、ワークショップで、ここを中心にアイディアを出してくださいとは言ったわけではないのですが、意見が非常に多かったのは事実です。その上でここをどのような空間にしていくのかということは、市民にお示しをする必要があると思います。

ここは、アイディアマップと関連するところが多い部分なので、アイディアマップを使った説明ができると思いますし、また、多くの市民の方にご意見をいただいた方がいい部分ではないかと思います。

もし、この部分で方向性が違うという委員さんがいたら、今日ご意見いただいて、この場で内容を詰めていく必要があると思います。

更に言えば、この未整備地の利活用の内容は、今年のキャンプ場をつくるといった内容とは、大きく方向性が変わっている部分です。

それを市民にお示しする場が市民フォーラムだと思っておりますので、この部分は本日ご意見いただいて、市民の方にご説明できるような形にしてはどうかと思いますが、いかがでしょうか。

(発言者：高山) 16 ページの 3。括弧 1 の、3 の、構成の 2 行目のところ。アイディアマップをもとに活用の方向性を整理してみました。その前のページの、15 ページの資料 4 を見て、アイディアマップではないということよろしいでしょうか。

5-2はどちらかというとな側全体のアイディアマップのイメージがしました。

それと、もう一点。フォーラムのときに出す資料として、5-2を出す。ブラッシュアップを出すということで、それは全然かまわないと思うのですけども。その説明のときに、これが全て恐らくではないということ、その参加者の方々に理解していただくということが大事かと思う。中でも賛成反対意見出ておりますので、その辺気をつけて出す必要があると思います。

それで戻りまして、16ページの3番の未整備地と展望広場の解体の利活用する、というのがありますが、もう一つ視点を増やすのなら公園の入り口に全体のコントロールする案内所といいますか。そういう場所として機能するものがあつたら良いのかなと思っております。意見として追加させていただきました。

(発言者：原) ありがとうございます。今三つご意見いただいたような気がするのですけれど。1番目のところは、ご質問かなと。

(発言者：高山) 16ページの3の未整備地の展望広場解体後の利活用の(3)の方向性案の2行目のアイディアマップをもとにしましたと文章がありますけれども、このアイディアマップは15ページの資料の5-2とはまた別のものではないかなと思ってご質問させていただきました。5-2というのは、南側の全体の話をもとめたイメージかなと思った。

(発言者：事務局) アイディアマップのうち展望広場と展望広場跡地に出されたアイデアをもとにしています。文章が足りてないので、高山委員さんがご指摘の通り、この文章ですと公園全体を示してしまいますので、文章を修正する必要があると思います。

(発言者：佐藤) 方向性とかというところで、16ページの方の三つの方向性というふうに書いてあり、三つ紹介されていると思うのですけれど。これだけ見ても、結構、サードプレイスとか、世代を超えて楽しめる交流滞在空間をすることが結構漠然としているなというふうに感じて、正直漠然としたこの三つの方向性を示してフォーラムをやってもおそらく、資料5-2のところに書いてある、いろいろなことをやってみたいよねということの枝がさらに増えていだけになってしまうのかなというふうな正直感じた。せっかくこういうふうな市民検討会議を開いている以上は、やはり自然とか、交流とか、景色の遊びというのは整備した後にいくらでも作ることができる部分だし、そこがバッパーになっているなというふうな思うので、まず、多分僕らが一番

しなきゃいけないのはこの未整備地だとか、展望広場跡地をどういうふうにするという話
をある程度決めて示した方が、フォーラムに参加された方というのがすごい意見出し
やすいかなというふうに思うので。例えば林さんがさっきおっしゃっていたような博
物館に隣接した展望台の設置みたいな、こういうことに対してそれが僕らの中でそれ
が賛成で相違なのかとかそういうことを決めて、こういうふうを考えているのだけと
いうふうに市民の方に言った方が、それはいいと思うというふうにも言えるし、そう
いうところが駄目だと思うというふうにも意見が出しやすいかなと思う。

方向性という言葉自体が曖昧なので、きちっと固めた方がいいのかなと。

(発言者：原) ご意見ありがとうございます。そうですね。具体的というのはど
こまでですか。

細かくなってしまうので、どの程度の方向性というのは難しいなと思うのですが、
今からあれですよ。フォーラムの日は変えられないですよ。もう 1 回欲しいなと。

(発言者：小川原) そもそもですが、今ここだけ、これだけの議論をするのにもこ
んなに時間使っているのですよね。当日の 17 ページこれの内容を見ましても、1 時
間。14 時から 15 時半これ、タイムスケジュール項目ごとに時間セットして皆さんの
意見を重要視しますような、アピールするのですが、聞いている内容 1 時間半では。

ですからこの辺も、もう少し練った方がいいじゃないかな、ごめんなさい。

(発言者：事務局) フォーラムを必ず年度内に開催しなければならないということ
はない。

実際、議論をここでしっかりとすることが大事なので。フォーラムについては、ス
ケジュールをご相談させていただく必要があります。市議会にもスケジュールはお示
ししていますので。年度内に、もう 1 度、皆さんに集まっていただいて、それからフ
ォーラムということになると、恐らく今年度中のフォーラム開催は無理だと思います。
その場合、予算を含めた実務的な調整が必要になりますので、ここでこうしますとい
うことは言えません。皆さんの意見をお聞きしていて、検討会議としてこう考えるど
うことを合意した上でのフォーラムの開催にしていく必要があるのだと思います。

また、議論が尽くされていない、この段階で検討会議主催の市民フォーラムを開催
し、市民の皆様何かを提示をすることは、時期尚早だと思いますので、3 月 25 日に
やらなければならないということではなくで、市民の方にご報告をするために、もう
1 回やはり皆さん、論点を整理した上で会議を開催する必要があると思います。

ただ、皆さんに集まっていただくとなると、予算との兼ね合いありますので、スケジュールにつきましては調整をさせていただきます。

今は、すみませんが、それしか言えない、言えません。いずれにしても、次回がフォーラムという進め方は無理だと思いますので、もう一度皆さんに議論していただく機会が必要だと思います。

(発言者：原) こういうものの進め方として、この場だけで意見出し合ってまとめていくのはとても難しいと思うのですが、皆さんも生活がある中で、しかも報酬費はこの出席の時間でしか出ないじゃないですか。けれど、今までの資料は本当に膨大ですので、それ全部読んできてというのは難しいと思う。けど、ある程度集約されてきた中で、事前にここについてご意見をまとめておいていただけますかぐらいのお時間は頂戴していいものでしょうか。でないと多分このまま、今日も3時間ぐらい取っていますけれど、通常2時間とかの会議の中で何か一つの方向性を見出す。結構難しい。

(発言者：林) 今日いただいた中でご意見。これを一つずつ箇条書きにして皆さんにメールで、それに対して賛成か反対またはご意見があるというようなところでお伺いした上でやった方がもっと早い時間で終わるのではと思うのですが。難しいことですか。実際に会って話ししてだと時間がかかります。話が飛んでしまう。私は提言案を出した。それに対してどうですか。皆さんからどんどん意見でるなかで、皆さんから出た意見がそのままどこかに行っちゃうのですよ。

ですから、それに対してどういう意見をお持ちですかという、皆さんにお願いした上で話を組み立てていくというのはどうでしょうか。

(発言者：事務局) ありがとうございますと。林委員さんからご意見いただいた通り、今日皆さんにいただいた意見が色々ありますので、出された意見を事務局で論点整理し、それを皆さんに共有させていただきたいと思います。

賛成と反対が分かれているような部分ですが、この会議は、多数決をとるような会議ではないものですから、論点を整理した上で、次回、どのような形で会議を持つかということは、座長と座長代理さんと相談させていただきたいと思います。できるだけ、早いうち整理します。

(発言者：梅津) 確かに今いろいろ意見が出たのですが、これそもそも魅力向上検

討会議というようなタイトルがスタート間違っているのですよ。本当は未整備地の再利用についてというようなことで始めれば、もっと絞られたいろいろな意見が出てきたはずなのに、それを、南側一体をどうするかというようなふうにとられるような、ワークショップみたいなのを開くなど、何か一応恰好つけているのだけれども、実際にやりたいところは未整備地の利用をどうするかということでしょう。それを明確にしていけないと結論として報告できない内容になるのですね。だから、スタートからこれは間違えたのではないかなというふうに私は思います。

とにかく6月までにはまとめるということであれば、今いろいろお話あったようにメールを使って、みんなの意見を集約してもらおう方法をしながらでも、決められた回数の中で会議は進めていくということをやらざるを得ないじゃないかというふうに思う。

(発言者：原) そうですね。お気持ちはわかります。確かに要素がたくさん盛り込まれている中で、私も何度かその具体をどこまで提言したらいいのかなと本当にわからないところでもある。けど、走り出してしまったものですし、私も冒頭の挨拶の中できっかけはそれだったかもしれないけれど、50年という節目で。いろいろこちらにも変わってきていますので、これをきっかけに6月まで全てが何か決まるわけではないような気がします。来年度の予算がどうなるかというのはもちろん市の方の方針もあると思うのですけれど。北部エリアは実行まで及んでいるということであれば、引き続きというところも形を変えてあるのかもしれないですし、その可能性に期待したところで、動き出したこの船としては、一つの着地を見たいなとは思っていますので。

もう一点だけ、もう少し絞られて、まとめていかれるようにしたいので、今日高山さんの方から北部の方もご報告ありましたけれども、いろいろなアイディアが出た中でどういうふうにしていくかというときに、立ち位置ですよ。アルプス公園の立ち位置。比較対象になるような公園がある中でアルプス公園がどういうところなのか、深沢さんのご意見のようにどういうところなのかということとか、あるべき姿というのを絞った上で、そしたら方向性も、具体的な方向性が見えてくるかなと思うので、そこについて整理したいなっていうのが個人的な意見。

私もこの会議が始まる前に資料としてはいろいろ役所の方からいただいているのですけれど、あんまりこの会議の中ではお示ししてはいないですけれど。

その辺も少し情報があつた方がいいかなというふうに、思います。

(発言者：事務局) 資料のまとめ方がうまくなく申し訳ありません。それらも含め

て次回までに論点を整理させてもらいたいと思います。

【部長挨拶】

（発言者：前澤部長）建設部長の前澤です。本日は長時間にわたりご議論いただきましてありがとうございます。

私は、途中からの参加になってしまいましたが、今お話の通り論点していきながらということで、もう少しわかりやすくさせていただけるような論点整理を伝えさせていただき、また、座長にご相談しながら、情報展開させていただきたいと思いますので、ぜひよろしくお願いをいたします。

私も松本で生まれ育った人間として、アルプス公園というのは本当に他とは違うなということは常日頃感じているところでございます。

ぜひこれから我々としても、運営できるようにしていきたいと思いますので、ぜひともよろしくお願いいたします本日はどうもありがとうございました。

（発言者：事務局） どうも皆様、大変お疲れ様でございました。だいぶ予定をした時間をということになりました。うんあと今後につきましては先ほど説明したように私どものまとめをさせていただく中で皆様方と共有をして、それがちょっと改めて仕切り直した部分がございます。改めてご相談をさせていただきたいと思います。つきましては一応ここまで今回会議をやった内容につきまして、3月議会の中間報告をさせていただきたいと思いますのでご承知を了承いただければと思います。お願いをしたい。それでは市長をもちまして第4回のアルプス公園魅力向上検討会議を終了させていただきます。

お疲れ様でございました。